

1. 建設関係

平成30年9月21日に政府において「重要インフラの緊急点検に関する閣僚会議」が開催され、南木曾町でも緊急点検を行った結果、近くに避難所等重要施設があり緊急に対策が必要な天白川向線、沼田線、与川線を選定した。その後、平成30年12月14日、国交省が今後3年間で防災・減災工事を行う閣議決定がされ、上記3箇所が国土強靱化事業として3年で総額150,000千円が事業採択された。

(町道関係)

- ・道路維持補修工事では、側溝修繕やポットホール等の町道補修事業のほか、新山沢線・柿其溪谷線・下切線の舗装補修工事、岩倉線の道路防災工事が行われた。
- ・道路新設改良工事では、上の原線・天白住宅線の改良工事を実施した。また、向栗畑線の測量設計調査を実施した。
- ・橋梁維持修繕工事では、H31～35の橋梁長寿命化計画の策定、桃介橋修繕の調査設計及び、むくり沢橋（広瀬）の補修工事を実施した。
- ・除雪対策事業は、除雪件数・日数とも少なく、前年度比約半分の減額となった。平成30年度より融雪剤散布車による業者委託を行い、路面凍結の予防に力を入れた。

(町道関係平成29年度繰越事業)

- ・与川線改良工事、上の原線改良工事、大原線舗装補修工事を実施した。橋梁維持事業では、田立駅跨線橋の点検、高橋等の調査設計及び新山沢橋他2橋の補修工事を実施した。

(町河川関係)

- ・町河川整備では、細畑沢護岸工事のほか、井戸沢・与の洞等の支障木伐採等を実施した。

(災害復旧事業)

- ・4月25日豪雨災害（3箇所）、7月4～7日豪雨災害（2か所）、8月16日豪雨災害（1箇所）、9月4日台風21号災害（36箇所）、9月30日台風24号災害（4か所）と5回被災し、総計46か所 総額51,639千円となり、非常に災害が多発した。4月25日豪雨災害と8月16日豪雨災害は国庫補助事業として査定を受け、年度内に早期に完成することができた。
- ・梨子沢災害で残土処理場となった大原採草地へのルート補修として、与川線・上の原線の法面修繕、待避所設置、支障木伐採を実施した。

(災害復旧事業平成29年度繰越事業)

- ・蘭広瀬線（神橋地区）道路法面修繕工事を実施した。

(国 関係)

- ・国道19号では、神戸視距改良工事の取付道路工事が実施された。また、三留野から羅天までの区間で舗装工事が実施された。
- ・直轄砂防事業では、額付第1砂防堰堤改築、桜洞砂防堰堤、和合蛇抜沢工事用道路築造工が実施された。また、桂川、地蔵沢で砂防指定地に向けた現地立会い、前の畑、熊の沢、戦沢で調査が行われた。

(県 関係)

- ・木曾川右岸道路整備事業は、県代行事業により引き続き町道川向柳野線改築工事が実施されたほか、一般県道上松南木曾線（戸場地区～大桑村）の地質調査、橋梁予備設計、トンネル詳細設計等が実施された。
- ・国道 256 号では、道路改良（漆畑拡幅）事業のほか、災害防除交通安全事業等（吾妻橋上、上在郷橋下）、歩道設置工事（三軒屋）が実施された。
- ・(主)中津川田立線は、取付道路工事、大滝川橋梁の用地・補償等が実施された。
- ・(主)中津川南木曾線は、滝上工区で道路詳細設計が実施された。
- ・県砂防事業は、岩戸沢砂防堰堤工事が実施された。
- ・森林税を活用した県単河畔林整備事業が開始され、木曾川（三留野信号）、細野沢（田島付近）の支障木を伐採した。

2. 住宅関係

- ・設計施工一体型のプロポーザル方式によりユーアイ住宅 1 棟 6 戸を田立元組区に建設した。
- ・公営住宅上仲団地 1 棟 1 戸の屋根改修工事を実施した。（H29 年度からの繰越事業）
- ・公営住宅上仲団地 2 棟 2 戸の屋根塗装工事を実施した。
- ・ユーアイ住宅尾越団地 1 棟 6 戸の屋根改修工事を実施した。
- ・住宅リフォーム補助金を 6 戸に交付した。

3. 環境衛生関係

- ・木曾クリーンセンター新炉が 4 月から稼働を開始した。
- ・ごみ処理関係では、可燃ごみが前年度より 11.7 t の増加、生ごみが前年度より 7.1 t の減少、不燃ごみが 1.1 t の増加となった。また、資源ごみの回収は 1.1 t の増加となった。
- ・環境美化活動では、衛生自治会と連携し町内一斉清掃を実施した。また、ポイ捨て防止監視パトロールを実施した。
- ・地球温暖化対策の一環として、国が進める「cool choice（賢い選択）」に賛同し、環境学習や省エネ研修会などを開催した。
- ・リニア中央新幹線事業による水道に関する町独自調査の準備として調査地点・調査方法の検討を行った。
- ・三軒家小規模水道と上在郷地区の水道水源を確保するため大山蘭簡易水道の管末を延長して配水する方法を選択し実施設計に基づいて 3 月に工事の入札を行った。（H31 年度への繰越事業）
- ・小規模水道施設の統合等を検討するため小規模水道全体計画策定業務を発注した。（H31 年度への繰越事業）

4. 特別会計

○簡易水道事業特別会計

- ・平成 30 年 4 月から水道料金を改定した。（7.6%分）
- ・公営企業会計への移行を進めるため固定資産台帳を作成した。（H30 年度までの債務負担）
- ・上下水道審議会を開催し新たに委員を選任した。

- ・遠隔監視装置更新工事設計を実施した。(6個所 細の洞ポンプ室、神戸ポンプ室、妻籠配水池、大山高区浄水場、大山低区配水池、向ヶ原配水池)
- ・リニア中央新幹線工事に伴う水道水源対策として予備的措置についてJRとの協議に参加して、水源として想定している河川の水質検査を実施した。

○下水道事業特別会計

- ・平成30年4月から下水道料を改定した。(6.1%分)
- ・長寿命化計画に基づく妻籠クリーンセンター監視制御設備の更新工事(H30年度までの債務負担)と好気性ろ床コントローラの更新工事を実施した。
- ・スクリーンユニットし渣脱水機を更新した。

○農業集落排水事業特別会計

- ・平成30年4月から下水道料を改定した。(6.1%分)
- ・施設の長寿命化を図るため機能診断業務を実施した。更に、機能診断の結果に基づいて最適化構想の策定業務を行った。
- ・マンホールポンプ場3カ所で水位計交換、異常通報装置更新、ポンプ交換等の工事を実施した。

○浄化槽市町村整備推進事業特別会計

- ・平成30年4月から下水道料を改定した。(6.1%分)
- ・浄化槽市町村整備推進事業により浄化槽21基を整備した。(町整備分508基)
- ・今年度、寄付による町管理型への移管は1基。(町への移管分243基)

【事業の評価】

- ・国土強靱化事業として町内3箇所が事業採択されたが、事業が実施される3か年以降も事業継続されるように国・県・関係機関等に働きかけていく必要がある。
- ・道路愛護作業については少子高齢化の影響で年々実施が厳しくなっている地区が増えている。過疎化地区を町補助金だけでなく直接作業で支援する必要がある。
- ・ユアイ住宅建設を設計施工一体型のプロポーザル方式で実施したことにより事業費節減、早期着手、工期短縮等に一定の効果がみられた。単身用住宅の要望も聞かれる中同様の方式を採用しながら低家賃住宅の建設も検討していく必要がある。
- ・小規模水道において将来に向けた施設の維持管理が課題となっているので小規模水道全体計画策定業務を通して地域の実情を考慮しながら具体的な検討が必要である。
- ・簡易水道特別会計、下水道特別会計、農業集落排水事業特別会計、浄化槽市町村整備特別会計の公営企業会計への移行について国から新たなロードマップが示されたので移行準備を計画的に進めていく必要がある。

8. 建設環境課所管

1. 建設関係

(1) 道路関係

① 町道

町道については、実施計画に基づき道路改良等の事業を実施したほか、社会資本整備総合交付金事業を実施した。

重要インフラに対する国土強靱化事業の実施に向けた箇所選定を行った。

道路維持補修については、各地域からの要望を中心に緊急性の高いものから順次実施し、可能な限り対応している状況である。

道路維持補修事業	68,322千円	(台帳整備含む)
道路改良事業	31,879千円	
除雪対策事業	15,397千円	
県営工事付帯事業	12,454千円	
橋梁維持補修事業	22,558千円	

30年度事業費計	161,413千円	(明細別紙参照)
30年災害復旧費	51,639千円	(明細別紙参照)
29年度繰越事業	97,513千円	(明細別紙参照)

② 国道

【一般国道19号】

神戸地区視距改良事業用地補償、取付道路工事、町道神戸線待避所の設置が実施された。

舗装工事 1工区(三留野大橋～J A南木曾支署)、2工区(金知屋～与川入口)、3工区(羅天)が実施された。

【一般国道256号】

道路改良(漆畑拡幅)、災害防除交通安全事業(吾妻橋上、上在郷橋下)、県単交通安全歩道設置工(上在郷)、等が実施された。

③ 県道

【主要地方道 中津川南木曾線(馬籠峠～下り谷拡幅)】

道路改築事業用地補償、道路詳細設計が実施された。

【主要地方道 中津川田立線】

道路築造工、大滝川橋梁(用地測量、物件調査、用地補償)が実施された。

【主要地方道 飯田南木曾線(茶屋上1号)】

道路防災事業が実施された。

【一般県道 上松南木曾線(読書ダム～戸場)】

地質調査、橋梁予備設計、トンネル詳細設計、用地測量、道路詳細設計、物件調査が実施された。

【県代行 木曾川右岸道路(町道川向榎野線)】

道路改築事業(川向)が実施された。

(2) 砂防・河川・災害関係

① 町単河川改修事業

【準用河川改修】

細畑沢の護岸工事及び井戸沢・与の洞沢の支障木伐採及び河川整備を実施した。

30年度事業費	10,803千円	(明細別紙参照)
---------	----------	----------

② 直轄砂防事業

【砂防事業】……………本体工事

事業概要 額付第1砂防堰堤改築・桜洞砂防堰堤・和合蛇抜沢沈砂地取付道路工

【砂防調査】……………地質調査・測量・詳細設計ほか

事業概要 桂川第1砂防堰堤・地蔵沢第1砂防堰堤・前の畑・熊の沢・戦沢

③ 県砂防事業

【砂防事業】……………本体工事 岩戸沢(沼田)堰堤

- 【砂防維持】……………維持工事 与川（島の橋上）支障木伐採
 ④ 県河畔林整備事業……………河川沿いの支障木伐採
 事業概要 木曾川（三留野信号）、細野沢（田島付近）

(3) 負担金関係等

期成同盟会、団体に対して負担金を支出し、事業促進のため要望活動を行った。

(明細別紙参照)

【国道256号改良促進期成同盟会】

飯田市・阿智村・南木曾町の3市町村で構成し、未改良区間の改良促進を主に積極的に要望活動を行った。

【木曾南部直轄砂防推進協議会】

上松町・南木曾町・大桑村の3町村で構成し、直轄砂防事業の促進について要望活動・現地調査・砂防研修会等を行った。

【中津川南木曾県際道路改良促進協議会】

中津川市・南木曾町2市町で構成し、岐阜県と結ぶ主要地方道2路線の改良促進を中心に現地調査等を行った。

【主要地方道飯田南木曾線改良促進期成同盟会】

飯田市、南木曾町及び各町内会・各種団体等、民間主導型で同盟会を結成し、改良促進を中心に現地調査等を行った。

【木曾南部木曾川右岸道路整備促進期成同盟会】

上松町・南木曾町・大桑村の3町村で構成し、右岸道路の県代行事業着手区間の早期完成と、未着手区間の早期事業化を中心に要望活動・住民啓発活動等を行った。

【木曾地域国道19号整備促進期成同盟会】

郡内6町村と塩尻市で今年度から同盟会を結成し、改良促進を中心に積極的に要望活動を実施した。南木曾町独自でも、飯田国道事務所、中部地方整備局、中央要望に雨量規制区間の解除に向けた整備をお願いした。

(4) 町道台帳整備

	30年3月末	31年3月末
道路実延長 (m)	163,240	163,283
改良済延長 (m)	96,575	97,508
舗装済延長 (m)	117,264	117,528
自動車通行不能道延長 (m)	40,563	39,905
橋梁数 (箇所)	207	207
うち永久橋 (箇所)	161	161

(5) 諸申請手続き

- | | |
|---------------|------|
| ① 河川法申請関係 | 23件 |
| ② 町道自営工事申請 | 3件 |
| ③ 町道使用申請 | 125件 |
| ④ 砂防法申請関係 | 2件 |
| ⑤ 急傾斜地法申請関係 | 0件 |
| ⑥ 町道通行制限協議 | 35件 |
| ⑦ 国道・県道通行制限通知 | 64件 |

平成30年度建設関係主要事業

道路維持補修事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
町道補修	町内一円	町道補修66箇所	9,277					9,277	
町道補修(地元施工含む)	町内一円	原材料(側溝蓋・舗装補修材等)	477					477	
調査委託	与川線 町内3路線 東町下線	用地測量・河川協議資料 FWD調査・基準点測量 相統登記調査	1,862					1,862	
土木小規模補修	町内一円 126箇所	ポットホール	3,453					3,453	
新山沢線舗装工事 (過疎)	岩倉	工事 L=288.2m 監理	11,605		11,500			105	
岩倉線道路防災工事 (自然災害防止)	岩倉	工事一式 監理 用地測量・取得	8,590		8,500			90	
柿其溪谷線舗装工事 (過疎)	本谷	工事 L=235.0m 監理	12,000		11,900			100	
下切線舗装工事 (過疎)	下切	工事 L=250.0m 監理	13,702		12,900			802	
その他維持工事に係る 用地購入	中山道 与川線 東町下線		1,627					1,627	
道路愛護作業補助金	町内一円 53地区	道路愛護作業	1,075					1,075	
その他		重機使用料、消耗品費	177					177	
合計			63,845		44,800			19,045	

道路橋梁一般事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
道路台帳整備事業	町内一円	道路台帳整備・補正 委託料、看板購入	4,477				4,477		
合計			4,477				4,477		

道路新設改良事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
天白住宅線改良工事	天白	工事 L=59.3m 監理	8,185				8,185		
向栗畑線道路改良	向栗畑	測量・設計 一式	7,487				7,487	債務負担行為 限度額 10,000千円	
向栗畑線道路改良 (その2)	向栗畑	概略設計	756				756		
上の原線改良工事 (辺地)	上の原	工事 L=497.5m 監理	14,911		14,900		11	H31～繰越 35,776千円	
町道道路良に伴う補修断面 検討業務	町内	妻籠町中線、塚野線 FWD 調査	540				540		
合計			31,879		14,900		16,979		

除雪対策事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳		備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
融雪剤・砂配布業務	町内一円		399						399	
町道除雪作業賃金		与川3区 下り谷 橋場 本谷	48						48	
凍結防止剤等購入代	町内一円 199箇所	塩化カルシウム 25kg 720袋	1,007						1,007	
融雪剤散布業務	町内		783						783	
町道雪害支障木伐採など	町内一円 5箇所	支障木伐採	1,439						1,439	
町道除雪業務重機使用料	町内一円 159路線	町内業者10社他委託 重機使用料	11,537	2,124					9,413	社会資本整備 交付金
町道滑り止め用砂購入代	町内一円 63箇所	砂配布	184						184	
合計			15,397	2,124					13,273	

※路線数は、委託契約業者ごとの契約路線数の合計数。(1路線で雪寒路線、通常路線ある場合は2路線として計上、同一路線を複数事業者契約の場合も2路線で計上。)

県営工事付帯事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳		備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
国土交通省関連事業 (国道19号視距改良)	神戸	路側帯カラー舗装、 支障木伐採	4,900						4,900	
国土交通省関連事業 (砂防事業)	塚野	支障木伐採、土捨場改良 工事、電柱移転補償等	3,774						3,774	
その他 国県関連事業	大原苗圃他	残土処理場等修繕	3,780						3,780	
合計			12,454						12,454	

橋梁維持経費

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳		備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	一般財源	
橋梁点検事業	田立駅跨線橋	定期点検	547						547	
	町内一円	長寿命化計画策定	5,909	3,135		2,500			274	
橋梁補修事業	高橋・岩倉橋 ・前沢橋	設計調査 一式	2,203	1,076					1,127	社会資本整備交付金
	南沢橋・漆畑橋 ・むくり沢橋	設計調査 一式	1,296	812					484	
	新山橋・夏焼橋 ・明智橋	工事 一式	5,422	3,398					2,024	
	むくり沢橋	工事 一式	5,411	1,293		3,500			618	
	桃介橋	調査設計 一式	1,770			1,700			70	
合計			22,558	9,714		7,700		5,144		

河川整備事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳		備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	一般財源	
細沢護岸工事	吾妻	工事 一式 用地購入費	9,820			9,800			20	
井戸沢・与の洞沢 河川環境整備	左記のとおり	支障木材採、河川整備	983						983	
合計			10,803			9,800			1,003	

道路災害復旧事業（現年災害 町単）

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	内訳 その他 一般財源	
道路災害復旧事業（4月25日 豪雨）								
道路災害復旧修繕工事	与川1箇所 蘭1箇所	土砂撤去 落石処理	168				168	
堀立線災害復旧工事	田立	応急工事 測量設計 附帯工事	10,402		1,700		8,702	
道路災害復旧事業（7月4日～7日 豪雨）								
道路災害復旧修繕工事	三留野1箇所 北部1箇所	倒木処理 舗装修繕 木曾川増水対応	792				792	
道路災害復旧事業（8月16日 豪雨）								
道路災害復旧修繕工事	北部1箇所	倒木処理 仮設工事 用地購入	1,064				1,064	
道路災害復旧事業（9月4日 台風21号）								
道路災害復旧修繕工事	36箇所	倒木処理、側溝閉塞復旧 巨石撤去、陥没補修 崩落除去、路肩修繕等	13,736				13,736	
道路災害復旧事業（9月30日 台風30号）								
道路災害復旧修繕工事	三留野1箇所 妻籠2箇所 蘭1箇所	倒木処理、 側溝閉塞復旧	687				687	
合計			26,849		1,700		25,149	

道路災害復旧事業 (現年度災害 国庫)

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源			内訳		備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
道路災害復旧事業									
掘立線道路災害復旧工事	塚野	工事 L=17.1m 監理	20,710	13,082		6,500		1,128	
岩倉線災害復旧工事	岩倉	工事 L=6.0m 監理	2,149	1,354		500		295	
合計			22,859	14,436		7,000		1,423	

河川災害復旧事業 (現年度災害 単独)

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源			内訳		備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
河川災害復旧事業									
細畑沢災害復旧事業	漆畑	工事 河床復旧	951					951	
その他災害関連復旧事業	下の沢 大沢田沢 西の洞 えみだ沢	護岸復旧 倒木処理	980					980	H31～繰越 1,159千円 伊勢小屋沢 災害
合計			1,931					1,931	

道路維持補修事業（平成29年度からの繰越分）

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
大原線舗装修繕工事 (過疎)	上の原	工事L=298.5m 工事・監理	10,146		9,000			1,146	
合計			10,146		9,000			1,146	

道路新設改良事業（平成29年度からの繰越分）

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
与川線道路改良工事 (辺地)	与川	工事L=77.0m 工事・監理	13,665		12,500			1,165	
上の原線改良工事 (辺地)	上の原	工事L=121.0m 測量・監理	18,793		17,800			993	
合計			32,458		30,300			2,158	

県営工事付帯事業（平成29年度からの繰越分）

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
県営工事付帯工事	町道神戸線	解体工事、支障木伐採 待避所設置、物件補償	14,758					14,758	
合計			14,758					14,758	

橋梁維持経費（平成29年度からの繰越分）

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				備考	
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源
橋梁点検事業	田立駅跨線橋	定期点検	3,402	2,277				1,125	
橋梁補修事業	高橋・岩倉橋 ・前沢橋	調査・設計 一式	8,071	4,807		2,750		514	
	南沢橋・漆畑橋 ・むくり沢橋	調査・設計 一式	6,157	3,675		2,050		432	社会資本整備 交付金
	新山橋・夏焼橋 ・明智橋	工事 一式	7,738	3,858		2,600		1,280	
合計			25,368	14,617		7,400		3,351	

公共土木施設道路災害復旧事業（町単）（平成29年度からの繰越分）

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				備考	
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源
蘭広瀬線道路法面修繕工事	蘭広瀬線	工事 監理 一式	3,324					3,324	
合計			3,324					3,324	

公共土木施設道路災害復旧事業（町単過年）（平成29年度からの繰越分）

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
与川線伐採工事	与川	工事一式	950					950	
上の原線支障木伐採工事	上の原	工事一式	3,780					3,780	
与川線法面修繕工事	与川	工事一式	2,949					2,949	
与川線待避所設置工事	与川	工事一式	3,780					3,780	
合計			11,459					11,459	

同盟会及び協会事業負担金等（土木総務費）

単位：円

負担金名称	金額	事業主体
256号改良促進期成同盟会負担金	200,000	同盟会（事務局 南木曾町）
木曾南部直轄砂防推進協議会負担金	163,000	推進協議会（事務局 大桑村）
河川協会負担金	12,000	河川協会
全国治水砂防協会負担金	105,000	全国治水砂防協会・長野県治水砂防協会
県道路整備期成同盟会負担金	194,500	
中津川南木曾県際道路改良促進協議会負担金	0	同盟会（事務局 中津川市）
飯田南木曾線改良促進期成同盟会負担金	20,000	同盟会（事務局 飯田市）
中津川田立線改良促進期成同盟会補助金	40,000	地元同盟会
長野県地区用地対策連絡協議会負担金	3,000	
木曾南部木曾川右岸道路整備促進期成同盟会	25,000	同盟会（事務局 大桑村）
合計	762,500	

2. 住宅関係

(1) 町営住宅管理状況

* 住宅及び入居者の状況

H31.3.31 現在

	管理戸数	年度当初入居戸数	年度中入居戸数	年度中退去戸数	年度末入居戸数	年度末空家戸数	除却予定空家戸数
公営住宅	70	65	6	6	65	1	4
特定公共賃貸住宅	16	16	0	0	16	0	0
地域優良賃貸住宅	6	4	3	2	5	1	0
町営単独住宅	22	18	0	1	17	0	5
ユーアイ住宅	42	36	1	5	32	10	0
合計	156	139	10	14	135	12	9

◎教育委員会管理

教職員住宅	30	27	1	4	24	6	0
-------	----	----	---	---	----	---	---

* 家賃徴収の状況

		家賃調定額	家賃徴収済額	未徴収額	家賃徴収率
使用料	(公営住宅・特賃住宅・地優良住宅)	21,185,200円	21,037,600円	147,600円	99.30%
	(全住宅駐車場)	414,000円	414,000円	0円	100.00%
財産収入	(教員住宅)	5,731,600円	5,731,600円	0円	100.00%
	(ユーアイ住宅)	15,865,900円	15,525,700円	340,200円	97.86%
	(町営単独住宅)	3,984,900円	3,944,100円	40,800円	98.98%
過年度収入		2,858,655円	244,455円	2,614,200円	8.55%
計		50,040,255円	46,897,455円	3,142,800円	93.72%

※家賃徴収

滞納対策については、家賃だけでなく町税等の滞納も絡んでいるケースが多く他係と連携して取り組んでいる。滞納者とは積極的に折衝し実情の把握に努め、計画的に支払えるように対策を進めている。

※住宅維持補修

平成30年度末において、環境住宅係で管理している住宅は156戸となっている。その内約80%が築20年を経過しており、老朽化に伴う維持補修や住宅環境の向上に対して入居者の要望が高まっている。これらに対応するため軽微な補修も含め40件2,669千円の維持補修を実施した。

教育委員会で管理している教職員住宅は13件476千円の維持補修を実施した。

(2) 住宅資金貸付業務

平成23年度から南木曾町への定住の推進を図ることを目的として、南木曾町定住促進住宅資金の貸付を始め、4件分にあたる2,000千円を金融機関に預託した。本年度は貸付の実績がなかった。

(3) 住宅建設の状況

・ユーアイ住宅

田立元組区に、ユーアイ住宅1棟6戸の建設を行った。

(4) 住宅改善の状況

・公営住宅改良事業

上仲団地 1 棟 1 戸屋根改修工事 (H29 より繰越し)

上仲団地 2 棟 2 戸屋根塗装工事 (別紙詳細)

・ユーアイ住宅改良工事

尾越団地 1 棟 6 戸改修工事 (別紙詳細)

(5) 諸申請手続き

・建築工事関係	建築工事届 (床面積 10 m ² 以上)	10 件
	建築確認申請書 (延べ床面積が 500 m ² など)	2 件
	建築物除却届 (床面積 10 m ² 以上)	22 件

(6) 木造住宅耐震改修補助事業

昭和 56 年 5 月 31 日以前に建築工事を着工した、木造在来工法の一戸建て住宅が対象

・耐震診断 (国・県・町で診断料を負担)	1 件
・耐震改修・補強工事 (工事費の 1/2 以内で上限 100 万円を補助)	0 件

(7) 住宅リフォーム補助事業

住宅関連産業を中心とした町内経済の活性化を図り町民が快適な生活を営むことができるよう、持ち家住宅のリフォーム工事に対して補助を行った。

※30 万円以上の工事に対して、補助対象工事費の 10%、限度額 20 万円。

補助金の 30%相当額を南木曾町商品券で交付

※H29 より、3 世代同居世帯、18 歳未満の子供のいる世帯、U・I ターン者のいる世帯、新規就業者・新規に障害者施設等に利用登録した者のいる世帯 (いずれも H29. 4. 1 以降に転入・登録した者) に対して、一律 5 万円の南木曾町商品券を加算して交付をした。

・平成 30 年度分	申請件数	6 件 (1 件 H29 より繰越し)
	補助対象工事費	166, 196 千円
	補助金額	1, 250 千円
	内商品券額	410 千円

別紙（事業実績）

（平成30年度実施事業）

事業名	実施箇所	事業量	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
ユーアイ住宅建設事業	田立元組区	1棟6戸建設	1棟6戸住宅建設費 監督補助業務 建設に伴う上下水道、 CATV等負担金	88,819				88,819	0	

（単位：千円）

事業名	実施箇所	事業量	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
公営住宅改良事業	読書上仲団地103号	1棟1戸	屋根改修工事（カバー工法） 設計管理業務	1,857				1,857	0	H29より繰越
〃	読書上仲団地104.105号	2棟2戸	屋根塗装工事	1,566				1,566	0	
ユーアイ住宅改良事業	吾妻越団地尾	1棟6戸	屋根改修工事（カバー工法） 設計監理業務	8,056				8,056	0	

3. 環境関係

(1) ごみ処理関係

①可燃ごみ

平成30年度の可燃ごみ（町収集分）排出量は458.1tで、前年度より16.5tの減少となった。

木曾クリーンセンターにおける南木曾町のごみ排出量（家庭系・事業系ごみ総量）は556.8tで、昨年度より11.7tの増加となった。木曾クリーンセンターでは可燃ごみ排出量（家庭系・事業系ごみの総量）の目標値を定め、平成30年度の実績で、木曾郡全体で650t、南木曾町では96tの減量が必要となり、木曾全体で連携してごみの減量・再資源化（3R・2R）への取り組みが必須となっている。引き続きごみの減量と分別意識の向上に努めていきたい。

【可燃ごみ排出量の推移】

（単位 ごみ量：t）

	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
町内収集分	490.8	469.6	457.0	474.6	458.1
ごみ排出量（家庭系+事業系）※	629.3	543.3	531.1	555.1	566.8
ごみ排出量対前年度増減	11.7	-86.0	-12.2	24.0	11.7
平成30年度排出目標値	471（家庭系+事業系）				
平成30年度排出目標値達成率	66%	85%	87%	85%	83%

※木曾クリーンセンターにおける家庭系・事業系ごみの総量（町収集分+持ち込み分）

②生ごみ

平成30年度が生ごみ排出量は108.2tで、前年度より7.1tの減少となった。

木曾クリーンセンターと連携して、分別意識の向上に努めていきたい。

【生ごみ排出量の推移】

（単位：t）

種 類	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
生ごみ	129.6	126.4	117.7	115.3	108.2

③不燃ごみ

平成30年度の不燃ごみ排出量は40.1tで、前年度より1.1tの増加となった。

集団回収や再資源化分別収集の排出量も増加しており全体的に排出量が増加したものと思われる。

【不燃ごみ（金物類・ガラス類）収集量の推移】

（単位：t）

種 類	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
金物類	17.2	17.5	18.3	18.4	19.3
ガラス類	21.3	21.6	18.4	20.6	20.8
合 計	38.5	39.1	36.7	39.0	40.1

④資源ごみ

資源びん・ペットボトル・発泡スチロール、蛍光灯、プラスチック製容器包装、ダンボール、雑誌・雑がみ、古着類を行政回収で、新聞、アルミ缶、牛乳パック、ビールびん等を保育園、小・中学校PTA等の集団回収で実施している。

資源集団回収の実績に応じて4団体に「南木曾町資源集団回収事業奨励金」を交付した。

○行政回収

【資源ごみ排出量の推移】

(単位：t)

種 類	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
ダンボール	83.4	83.4	78.9	80.5	84.8
雑誌・雑がみ	—	24.8	29.2	29.0	30.7
資源びん	35.3	33.5	31.1	30.5	27.7
ペットボトル	11.4	11.2	11.5	11.2	11.5
発泡スチロール	3.1	3.0	2.8	2.7	2.8
プラスチック製容器包装	29.7	32.0	29.6	31.0	28.3
古着・古布	—	9.9	7.6	7.0	7.2
合 計	168.9	197.8	190.7	191.9	193.0

○資源集団回収

実施団体：南木曾小PTA・南木曾中PTA・田立子どもと歩む会・ひだまり工房

【集団回収量と奨励金交付額】

(単位 回収量：kg、ビン類：本、交付額：円)

種 類	平成28年度		平成29年度		平成30年度		
	回収量	奨励金 交付額	回収量	奨励金 交付額	回収量	奨励金 交付額	
紙類	新聞	88,000	264,000	81,410	244,230	73,900	221,700
	雑誌類	69,490	277,960	63,650	254,600	60,120	240,480
	ダンボール	21,870	65,610	19,160	57,480	16,860	50,580
牛乳パック	1,550	4,650	1,540	4,620	1,290	3,870	
アルミ缶	4,840	14,412	4,866	14,598	4,867	14,601	
ビン類(本)	1,912	381	2,364	471	1,238	246	
合 計		627,013		575,999		531,477	

⑤南木曾町資源ごみストックヤードについて

資源ごみ(資源びん、ペットボトル、発泡スチロール、蛍光管、ダンボール、雑誌・雑がみ等)の受け入れを、毎週水・土曜日の午前8時30分から12時まで業務委託により実施している。

平成26年度から布団の受入れ(有料(130円/10kg H27.10.1料金改定))を開始し、受入件数が年々増加している。

・平成30年度布団受入実績 155件 6,250kg(前年度比41件 1,720kg)

(2) 環境美化関係

南木曾町美しいまちづくり条例の規定に基づく環境美化の日に、南木曾町衛生自治会が中心となり町内一斉清掃を実施した。

①南木曾町衛生自治会

【平成30年度活動状況】

活 動	回数等	場 所	内 容
総会	1回	南木曾会館	4月17日
役員会	4回	役場	4月10日、5月15日、8月8日、3月13日
町内一斉清掃	2回	町内	4月22日(可燃ごみ180kg 不燃ごみ135kg) 9月30日(台風接近により中止)
委員研修	1回	木曾町	10月26日「木曾クリーンセンター」(21名出席)
町の事業への協力	随時	町内	環境衛生事業への協力、容器包装廃棄物(資源びん・ペットボトル・発泡スチロール等)の分別収集の推進協力等

②ポイ捨て防止監視パトロール事業

「ポイ捨て防止監視パトロール事業」として、前期5名、後期5名を雇用し、国道19号・256号のパーキングを中心とした不法投棄防止啓発活動とごみ拾いを実施した。

依然として不法投棄ごみは多く、最近では汚物の投棄も目立っている。関係機関等への協力を求めながら不法投棄防止の啓発を図る必要がある。

【ポイ捨て監視パトロールごみ回収状況】 (単位:個)

回収品目	平成28年度	平成29年度	平成30年度
缶類	4,563	3,620	4,010
びん類	291	340	322
ペットボトル	3,758	3,634	4,888
可燃ごみ	257	184	185

※可燃ごみは町指定の可燃ごみ指定袋(50L)での回収数量

【ポイ捨て監視パトロール出動日数・延人数・延時間】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
出動日数	199日	169日	204日
延人数	397人	338人	418人
延時間	1,191H	1,014H	1,254H

③不法投棄防止関係

町が加入する木曽地域廃棄物不法投棄防止対策協議会による、「道の駅大桑」でのポイ捨て防止啓発活動に参加した。

また、木曽地域廃棄物不法投棄防止対策協議会との合同で、廃棄物不法投棄防止パトロールを実施した。

(3) し尿・火葬関係

①し尿関係

【し尿排出量・処理量等】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
汲取り量	799KL	744KL	725KL
汲取り手数料	8,794千円	8,211千円	8,343千円
浄化槽汚泥量	2,253KL	2,419KL	3,029KL
浄化槽清掃手数料	24,447千円	26,308千円	32,407千円

②火葬関係(緑聖苑)

【火葬場使用件数等】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度
火葬場使用件数	41件	32件	51件
火葬場使用料	619千円	457千円	765千円
霊柩車使用件数	34件	30件	51件
霊柩車使用料	930千円	770千円	1,370千円

(4) 墓地の許可関係 (届け出数)

①墓地	経営許可：0件	廃止許可：4件	改葬許可：25件
②納骨堂	経営許可：0件	廃止許可：0件	

(5) 霊園分譲関係 (神戸霊園)

未分譲区画	2区画 (30年度分譲実績0件)
返還	0区画
使用権譲渡	1区画
年度末未分譲区画	2区画

(6) 飼犬登録関係

【飼犬登録数と狂犬病予防注射実施状況】

年度当初 畜犬登録数	355頭	年度内注射済頭数 (前住地接種含む) ※1	300頭
死亡等抹消頭数	34頭	未接種頭数 ※2	29頭
新規登録数	7頭	新規登録手数料 (@3,000×7頭)	21,000円
転入登録数	1頭	注射済証交付手数料 (@550×316頭)	173,800円
年度末 畜犬登録数	329頭	鑑札再交付手数料 (@1,600×0頭)	0円
		計	194,800円

※1 注射済頭数内訳 集合春：253頭、集合秋：29頭、訪問：7頭、来院：27頭、
転入：0頭 (年度内前住地接種済) 死亡等：16頭 計300頭

※2 未接種頭数内訳 新規：1頭、老病等：6頭、不詳：22頭 計29頭

(7) 再生可能エネルギー関係

「南木曾町環境基本条例」及び「南木曾町の自然環境等と再生可能エネルギー設備設置事業との調和に関する条例」の制定により、一定規模 (事業区域面積500㎡) 以上の再生可能エネルギー施設の設置を計画する事業者は、地元への説明会実施後、町への協議が必要。

件数	法人	3件 (田立地区3件)
	個人	2件 (吾妻地区1件、田立地区1件)

(8) 地球温暖化対策関係事業

国が進める地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE (賢い選択)」に賛同し、省エネや行動など温暖化対策に資する選択を一人ひとりができるところから取り組んでもらうことを目的に、長野県環境保全協会へ事業を委託して環境学習、省エネ講習会等の開催、パンフレットの配布による普及啓発を実施した。

【環境学習等の実施状況】

事業名	実施日	参加者	内容
環境学習	H31 2月16日	土曜子ども教室環境授業 小学生8名 保護者3名	デジタル地球儀「触れる地球」を活用し、地球温暖化による地球環境の変化等について学習。家庭の簡単省エネ術について説明。

(9) リニア関係

◎リニア中央新幹線事業による環境への影響を明らかにするための周辺環境の現況調査の実施

①長野県大気環境測定車「あおぞらVI号」による大気観測の実施

測定期間	実施地区	測定場所
4月25日～5月24日（30日間）	妻籠クリーンセンター	妻籠地区

②水質、水量等の独自調査の実施

平成31年度より町独自調査として実施するための「調査地点」・「調査方法」を検討するための業務委託

4. 上下水道関係事業

(1) 簡易給水施設関係

①簡易給水施設整備助成（事業費の90%） (単位：円)

	水道組合名	補助内容	補助金額
1	胡桃田水道	消火栓移設・取換え	136,000
2	大高取水道	配水管・排泥管修繕	311,000
3	向田水道	取水施設清掃	58,000
4	十二兼水道	濾過器オーバー管修繕	340,000
合 計			845,000

②簡易給水施設水質検査

町内19ヶ所の地区水道施設の水質検査を年2回実施し、結果により指導を行った。

※1回分（139,536円）については町が負担を行っている。

検査機関 (財) 中部公衆医学研究所

*小規模水道 人口・戸数一覧表 (平成31年3月31日現在)

(小規模水道：簡易給水施設、飲料水供給施設の総称)

No.	水道名	種別	地区	住民リスト		水源	
				戸数	人口	名称等	種別
1	向田水道	簡易給水施設	与川一区	4	9	ささら沢	表流水
2	柿平水道	飲料水供給施設	与川一区	15	46	干沢(ひざわ)	表流水
3	南野水道	簡易給水施設	与川三区	5	20		表流水
4	小川野平水道	簡易給水施設	与川三区	8	18	カツラ洞	表流水
5	胡桃田水道	飲料水供給施設	上の原・与川区	23	55	沼洞	表流水
6	坂本平水道	簡易給水施設	与川五区	6	20	久保洞	湧水
7	学校平水道	簡易給水施設	与川五区	4	9	大沢の支流	湧水
8	川合平水道	簡易給水施設	与川四区	9	24	ナシノキ沢	表流水
9	十二兼水道(上)	飲料水供給施設	十二兼	12	32		湧水
10	十二兼水道(下)	飲料水供給施設	十二兼	13	34	熊ノ沢	表流水
11	前の畑水道	簡易給水施設	岩倉	6	25	新山沢	湧水
12	金知屋水道	簡易給水施設	金知屋	5	15	日陰洞	表流水
13	上の原下の平水道	簡易給水施設	上の原	12	22	倉洞	湧水
14	上の原下6戸水道	簡易給水施設	上の原	6	21	白鳥沢	湧水
15	大妻籠上の平水道	簡易給水施設	大妻籠	6	12	井戸沢	表流水
16	大高取水道	簡易給水施設	上在郷	5	14	大明神沢	表流水
17	三軒屋水道	簡易給水施設	上在郷	3	10	水上沢	表流水
18	夏焼水道	簡易給水施設	富貴畑	4	7	夏焼(大土地)沢の支流	表流水
19	富貴畑水道	簡易給水施設	富貴畑	1	1	カンツ洞	表流水
	合計	19		147	394		

※個人水道（簡水給水区域内を除く） 28戸・66名

③三軒家・上在郷水道管布設事業

平成28～29年度事業で三軒家・上在郷地区の水道水源として井戸を検討してきたが、水量・水質の点から計画を再検討することとした。結果、応急的処置として大山・蘭簡易水道の管末を延長し三軒家水道の配水池へ接続、さらに上在郷集会所周辺まで延長する計画に変更し、実施設計を行った。しかし工期が冬季に差し掛かる見込みとなったため、工事自体は

平成 31 年度へ繰り越すこととし、3 月に入札を行った。

委託料 平成 30 年度 三軒家・上在郷配水管布設工事設計業務 … 2,592,000 円
 (委託先：共和設計(株))
 工事費 平成 30 年度(繰越) 三軒家・上在郷配水管布設工事 … 26,224,000 円
 (請負者：(株)名工土木)

④ 飲用水整備事業補助金

個人水道使用者の施設修繕事業に対する助成。本年度は 2 世帯分の受水槽漏水修繕事業に対し 270,000 円を交付した。

⑤ 小規模水道現況・人口調査

小規模水道の実態を把握するため、本年も各小規模水道組合を対象とした現況・人口調査を行い水源や施設の状況、運営状況の詳細を調査した(18 組合中 17 組合より回答)。

⑥ 小規模水道全体計画策定

高齢化・人口減が進行し維持管理が難しい状況にある小規模水道の持続的な運営を図るため、小規模水道全体計画の策定を令和元年度までの債務負担行為で開始した。

委託料(平成 30 年度分)

平成 30 年度(債務負担行為) 小規模水道全体計画策定業務 … 1,684,000 円
 (委託先：共和設計(株))

(2) 下水処理関係

合併処理浄化槽設置補助事業については、平成 30 年度においては 3 基設置した。

内訳： 与川三区 1 基、幸助(夏焼)地区 1 基、上の原地区 1 基

① 合併処理浄化槽設置整備補助実績内訳

(単位：千円)

補助金額	左記の財源内訳			備考
	国庫支出金	県支出金	一般財源	
1,294	431	431	432	設置補助金

* 人槽内訳 ・ 5 人槽 … 1 基 ・ 7 人槽 … 1 基 ・ 10 人槽 … 1 基

② 人槽別設置補助金額

(単位：円)

人槽の区分	補助金額
5 人槽	332,000
6～7 人槽	414,000
8～10 人槽	548,000
11～20 人槽	939,000
21 人槽以上	1,472,000

③ 排水設備改造資金関係

◎ 貸付限度 … 1 世帯 1 件とし、100 万円以内で 10 万円単位

◎ 償還期間 … 5 年以内

・ 金融機関預託額 八十二銀行南木曾支店 1,000 千円
 J A 木曾南木曾支所 2,000 千円

・ 貸付実績 (新規分) なし
 (継続分) 八十二銀行南木曾支店 1 件
 J A 木曾南木曾支所 1 件

・ 年間利子補給額 2 件 13,409 円

